

総務

佐賀市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

〔質問〕 消防団員の定員総数を減らすのは、予算を削減するためなのか。

〔答弁〕 実際の消防団員数が実態と大きく乖離していることや、共済制度等の掛金を縮減することが主な理由である。

〔質問〕 消防団員の定員総数を350人減らすということがひとり歩きしないよう、今後も消防団員の確保に向けた取り組みが必要であると思うが、どうか。

〔答弁〕 今回は、あくまでも現状にあわせて定員総数を減らすものであり、現状

文教福祉

一般会計予算中、公立認定こども園整備事業

〔質問〕 成章保育所がなくなることは、市の中心部で働く人達の保育ニーズとの整合性がとれないのではないかと。

〔答弁〕 成章保育所がある勸興校区や隣接する神野校区には、教育・保育施設の受け皿が十分にあることから、働きに来られる方々の分を含めても、十分対応できるものと考えている。

〔質問〕 市内の待機児童で一番多いのは0歳児から2歳児だと思うが、3号認定の利用定員を増やす考えはなかったのか。

で十分であるという考えは全くない。これまでと同様に、消防団員の確保に向け、団員を減らすことなく、さらに増やす方向となるよう取り組みんでいきたい。



一般会計予算中、シティプロモーション業務委託料

〔質問〕 市のプロモーション動画の再生回数が下がっている現状があることから、真に効果があるのかを検証する必要

常任委員会

〔答弁〕 新しい本庄こども園（仮称）に予定している利用定員で、市南部の待機児童は十分に解消できると考えている。

〔質問〕 本庄公園の東側に用地を新たに確保して整備を行うとのことだが、地権者との合意はできているのか。仮に、今後の地権者との交渉が難航すれば、計画が全体的に遅れることにならないか。

〔答弁〕 まだ、地権者や地元との交渉は行っていない。今後、交渉が難航する場面もあるかもしれないが、事業の必要性を丁寧に説明するなど、誠意を持って対応していきたい。同様に、施設を建設する際も、周辺住民の理解を得られるよう誠意を持って対応していきたい。

があると思うが、現在どのような検討を行っているのか。

〔答弁〕 新年度からPRタイムスというプレスリリース配信代行サービスの活用を考えている。また、シティプロモーション指針を策定する委員会を設置し、動画の効果的な発信について検討したい。

〔意見〕 第三者による評価を取り入れ、何が欠落しているかを分析し、より高い効果が期待できるよう、厳しくチェックをお願いしたい。

同予算中、総合交通対策事業

〔質問〕 富士町のコミュニティバスは、

日曜祝日を運休にすると、不便さを感じる利用者がいるのではないかと。

〔答弁〕 乗降調査では日曜日の乗車が少なかったため、まずは日曜祝日を運休することとしたい。運行開始後、半年をめぐりに、状況に応じた見直しを行いたい。

〔質問〕 公共交通空白地域等からモデル地区を2つ選定することだが、どこ

の地区を選定するのか。

〔答弁〕 4月に開催される自治会長会に出向き、そこで希望を募りたい。公共交通の空白地域が広いなどの地域の状況を踏まえ、モデル地区の選定を行いたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

の活用についてのアイデア募集を行っているが、出されたアイデアについては情報共有を行い、今の段階からここで何ができるのかなどをしっかりと検討する必要があると思うが、どうか。

〔答弁〕 県と市で、SAGAサンライズパーク整備に関する連携会議を立ち上げてワーキンググループを開催しており、その中で情報共有を図っていききたい。

〔意見〕 ワーキンググループの中で、佐賀市としての利用の仕方等も積極的に発言し、しっかりと考えて進めていただきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。



認定こども園候補地視察の様子

同予算中、SAGAサンライズパーク関連文化会館整備事業

〔質問〕 佐賀県はペDESTリアンデッキ

※ 1 ペDESTリアンデッキ…高架式の歩行者専用道路。SAGA サンライズパークと佐賀市文化会館を繋ぐ形で設置される予定。

経済産業

佐賀市やまびこの湯の指定管理者の指定について

〔質問〕 前回の指定管理者の指定の際には複数の応募があったが、今回1社となっている要因は何か。

〔答弁〕 温浴事業は特殊な業種であるため、他の業種に比べて事業者が少ないことや、どの事業者も経営状況が厳しく、新規参入がしにくい状況であること、また、周辺地域に多くの温浴施設ができたことなどが要因ではないかと考えている。

〔質問〕 先に指定管理委託料の予算化を

した上で募集をすれば、ほかに手を挙げる事業者がいたのではないかと。

〔答弁〕 料金改定には条例の変更が必要であり、2年前から三瀬の自治会と話し合いを行ってきたが、地元の思い入れが強い施設でもあり、協議に時間を要した。本来は条例の改正を11月定例会で上げるべきだったが、今回、指定管理者の指定と予算も同時にお願いうるというイレギュラーな方法となった。



やまびこの湯

一般会計予算中、特産物振興支援事業

〔質問〕 この予算は、駅南口の（仮称）コムボックスに入る店舗分だけなのか、それともJAの産直所全部で行うものか。また、来年度のみ予算なのか。

〔答弁〕 コムボックスに入る「街かど畑」の分だけである。現段階で期間を設定していないが、当面3年間を目安に考えており、その間の実績や成果を評価しながら、その後の取り組みを検討したい。

〔質問〕 これまでのファーム・マイルレージ運動で、今回のような補助的な予算措置

置はあったのか。

〔答弁〕 これまで協力店への補助的な予算は付けていない。

〔質問〕 根本的なこの事業の進め方や充実のさせ方をどのように考えているのか。

〔答弁〕 ファーム・マイルレージ運動はまだ認知度が不足している。コムボックスは人目につきやすく交通の便がよいので、買い物客も増えると思うので、この取り組みをファーム・マイルレージ運動の起爆剤にして、制度の浸透を図りたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

常任委員会

建設環境

一般会計予算中、犬等の適正管理対策経費

〔質問〕 クラス対策については、過去に附帯決議を行い、個体数の減少を取り上げていたが、それを踏まえて令和2年度はどのような対策を考えているのか。

〔答弁〕 留鳥と渡り鳥で分けて対策を講じなければならないと考えている。留鳥については、現在、箱わなを9基仕掛けており、今年度も昨年度並みの1,200羽程度を捕獲している。渡り鳥のミヤマガラスについては、今年1月に佐賀大学の協力を得て、LEDライト

による照射実験を行い、戻ってくる数が減少したなどの一定の成果があると認識している。今後、地元住民の理解と協力が必要になってくるため、来年度以降は、LEDライトの貸出しも行いたいと考えている。また、他自治体の事案で良いものがあれば検討していきたい。

同予算中、清掃工場管理運営経費

〔説明〕 近年、清掃工場へのごみの直接搬入の件数が増加傾向であることや、持ち込むごみの分別が不十分であることを背景に、スムーズなごみの搬入、3Rの推進などを目的として、清掃工場と清掃工

場南部中継所へ土曜・祝日にごみを持込む場合の事前予約制システムの開発委託のための経費を新たに計上する。

〔質問〕 予約した通りではなく、追加でごみを持たむなどの変更は可能か。

〔答弁〕 市で受け入れができるごみは、変更を認めるよう考えている。

〔質問〕 受付時に持込むごみの計量が必要ならば、計量台の増設といった改善も必要ではないか。

〔答弁〕 計量台の増設は1台約1千万円かかる。また、計量台を増設すれば、受付後のごみを降ろす場所に搬入車両が一气に入ってくるため、その場所の拡張を検討しなければならず、屋根まで

備えれば、約4,400万円かかる。そのほか、新たな人件費もかかるため、慎重に検討しなければならない。



佐賀市清掃工場

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。